

生徒の志を高める道徳教育の充実



～高め合い、認め合い、鍛え合う生徒の育成～ 鳥取市立北中学校

北中学校では、「自治力を高め合う集団の育成と豊かな学びの創造」を主題にして、確かな学力に基づいた豊かな学びを構築する授業づくりに取り組んでいます。そして、よりよい集団をめざし、道徳教育の充実や生徒会活動・部活動の充実にも工夫した取組が行われています。その中で、学校行事や全校道徳を通して、自らの思いを表現することを意識した道徳教育の実践を紹介します。

自治力とは…
自らが
「考える」「表現する」
「判断する」「行動する」
と捉えています。

【学校行事を通して、人間としての生き方についての自覚を深める実践より】

◆ 学校行事を「道徳的実践の場」として捉える

- ※全校共通目標：『心で聴く』
- 生徒同士の聴き合う態度の育成
- 教師と生徒、生徒同士の信頼関係の構築

◎ 『北中フォーラム』～県外で活躍するOBを3名招いて

生徒の意見

・北中を改めてすごい学校だと思った。僕たちに期待されることを聞いたので卒業してもがんばりたい

*会場には校区の小学6年生も招待され、熱心に先輩の語りに耳を傾けていました。

パネルディスカッション～

- 「中学校生活で大切なこと」
 - ・中学校卒業後、どのように生きてきたか
 - ・後輩へ期待すること
 - ・夢について
- 「どこにいても故郷を思う心」
 - ・鳥取にいる人も出た人も、一緒になって鳥取をよくしようとする気持ちを持ち続けたい。

めざす生徒像

自治力の向上

思いを表現する

【全校道徳を通して共通の問題意識を持つ実践より】

◎授業を前半と後半に分けて行う工夫

- ・自作した指導案をもとに校長先生が全校生徒に語りかけ、それを受けて生徒が教室に戻った後、担任が後半の発問とまとめの話をを行う。

◎学校行事と関連させて行う工夫

- ・行事と関連した自作資料を題材に、講堂で1時間の全校道徳を行った。生徒は学年の壁を越えて、全校の前で自らの意見を堂々と発表した。【1-(2)「強い意志」】

生徒の意見

- ・自分の夢は未定だが、目の前のことを一歩ずつやっていきたい。

本年度の実践例

- 【2-(6)「感謝」】
- 【4-(7)「愛校心」】
- 保護者や生徒の手記や作文をもとにした自作資料で、全教職員が同じ指導案で内容項目に迫った。

◆指導のポイント

- ・全教職員の共通理解のもと、全体計画に位置づけ、計画的に取り組む。
- ・本年度の重点項目と関連を図る。

中学校における道徳教育については、「思春期の特質を考慮し、人間としての生き方や社会とのかかわりを見つめさせる観点を重視する。」「管理職の参加や他の教職員とのT.T等の協力的な指導体制を充実させる。」と学習指導要領に記載されています。(一部抜粋) 北中学校の取組は校内研究の主題と連携しており、付けたい力を重視した道徳教育の実践によって職員や生徒の意識が向上し、よりよい学校づくりにつながっていくことが期待されます。



全校道徳